

# 2016年度 事業計画書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

社会福祉法人  
聖隷福祉事業団

2016年度 事業計画書 目次

はじめに	1	宝塚すみれ栄光園	100
聖隷三方原病院	7	ケアハウス宝塚	102
聖隷おおぞら療育センター	11	結いホーム宝塚	104
三方原ベテルホーム	13	宝塚栄光園	106
聖隷浜松病院	15	花屋敷栄光園	108
聖隷淡路病院	19	ケアハウス花屋敷	111
聖隷横浜病院	21	<宝塚第二地区在宅複合事業(社会福祉事業)> 聖隷ヘルパーステーション宝塚 聖隷逆瀬川デイサービスセンター 聖隷逆瀬川デイサービスセンター虹	113
聖隷佐倉市民病院	23	<宝塚第五地区在宅複合事業(公益事業)> 聖隷訪問看護ステーション宝塚 逆瀬川地域包括支援センター 聖隷ケアプランセンター宝塚	115
保健事業部	25	<北神戸地区在宅複合事業> 聖隷訪問看護ステーション北神戸 聖隷ケアプランセンター北神戸	117
聖隷健康診断センター	27	<宝塚第五地区在宅複合事業> 聖隷訪問看護ステーション山本 聖隷ケアプランセンター花屋敷	119
聖隷予防検診センター	29	聖隷逆瀬川デイサービスセンター	121
聖隷健康サポートセンターShizuoka	31	聖隷デイサービスセンター結い	122
地域・企業健診センター	33	聖隷コミュニティケアセンター宝塚	123
浜松市リハビリテーション病院	35	聖隷カーネーションホーム	124
聖隷袋井市民病院	37	淡路栄光園	126
在宅・福祉サービス事業部	39	聖隷訪問看護ステーション淡路	128
<和合せいれの里> 特別養護老人ホーム和合愛光園 和合愛光園デイサービスセンター 障害者支援施設みんとす 障害者相談支援事業所くすのき 生活支援ハウスやまぶき 和合愛光園和合サテライト 訪問看護ステーション住吉 聖隷ヘルパーセンター 聖隷巡回ヘルパーぐるり和合 聖隷ケアプランセンター浜松 聖隷ケアプランセンター和 地域包括支援センター和合	44	聖隷ヘルパーステーション淡路	129
<聖隷ケアセンター初生> 和合愛光園初生サテライト 聖隷デイサービスセンター初生 聖隷ヘルパーセンター初生 聖隷巡回ヘルパーぐるり初生	49	奄美佳南園	130
いなさ愛光園	51	のぞみ園	132
もくせい	54	春日保育園	134
<細江地区在宅複合事業> 訪問看護ステーション細江 聖隷ケアプランセンター細江	56	<沖縄地区在宅複合事業> 聖隷訪問看護ステーションゆい 聖隷居宅介護支援センターゆい	136
<引佐地区在宅複合事業> 地域包括支援センター細江 聖隷ケアプランセンターいなさ南部	57	聖隷こども園わかば	137
聖隷リハビリプラザいなさ	58	聖隷こども園桜ヶ丘	139
<三方原地区在宅複合施設> 訪問看護ステーション三方原 聖隷ケアプランセンター三方原 聖隷デイサービスセンター三方原	59	聖隷こども園ひかりの子	141
<高丘地区在宅複合事業> 訪問看護ステーション高丘 地域包括支援センター高丘	61	聖隷浜松病院ひばり保育園	143
聖隷リハビリプラザIN高丘	62	聖隷めぐみ保育園	144
訪問看護ステーション浅田	63	こうのとり保育園	145
訪問看護ステーション住吉第二	64	磐田市子育て支援総合センターのびのび	147
聖隷デイサービスセンター住吉	65	こうのとり東保育園	148
聖隷コミュニティケアセンター	66	こうのとり豊田保育園	150
聖隷厚生園讃栄寮	67	逆瀬川あゆみ保育園	152
聖隷厚生園信生寮	69	御殿山あゆみ保育園	154
<聖隷厚生園 障害児者在宅事業(浜松)> ナルド工房 チャレンジ工房 きらめき工房 生活訓練事業所ナルド 障がい者相談支援事業所ナルド	71	御殿山児童館	156
<聖隷厚生園 障害児者在宅事業(磐田)> 磐田市発達支援センターはあと 児童発達支援事業所かるみあ	74	野上あゆみ保育園	157
浜松市生活自立相談支援センターつながり	76	野上児童館	159
浜北愛光園	78	高齢者公益事業部	160
森町愛光園	81	浜名湖エデンの園	162
松戸愛光園	84	宝塚エデンの園	164
<浦安市高洲高齢者福祉施設及び 猫実高齢者デイサービスセンター> 浦安市特別養護老人ホーム・短期入所生活介護 浦安市高洲高齢者デイサービスセンター 浦安市高洲地域包括支援センター 浦安市ケアハウス 浦安市猫実高齢者デイサービスセンター	87	松山エデンの園	166
浦安愛光園	89	油壺エデンの園	168
浦安ベテルホーム	91	浦安エデンの園	170
聖隷ケアプランセンター浦安・ 浦安せいれいクリニック	93	横浜エデンの園	172
聖隷訪問看護ステーション浦安	94	<聖隷藤沢ウエルフェアタウン> 藤沢エデンの園一番館 藤沢エデンの園二番館 藤沢愛光園 聖隷デイサービスセンター藤沢 聖隷ケアプランセンター藤沢 聖隷ヘルパーステーション藤沢 聖隷訪問看護ステーション藤沢	174
横須賀愛光園	95	奈良ニッセイエデンの園	178
せいれい訪問看護ステーション油壺	99	松戸ニッセイエデンの園	182
		明日見らいふ南大沢	186
		法人本部	188

# 2016 年度事業計画にあたって

～将来を見据えた変化と実行～

理事長 山本敏博

## ○2016 年度聖隷福祉事業団法人目標

1. 最高の質を追求し、「聖隷」ブランド力の強化
2. 社会福祉法人としての使命の追求
3. 人づくり文化の醸成
4. 女性の活躍推進と人材の確保
5. 新たなサービスの創造
6. 連携の可視化による地域包括ケアシステムの基礎作り
7. 健全経営の推進

団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025 年に向かい、少子超高齢社会、人口減少が要因となり、人口構造が大きく変化しようとしている。それに伴い医療法、社会福祉法、社会保障制度をはじめとした法制度の改革が予定され、今まで以上に保健・医療・福祉・介護が一体となりサービスを提供していく必要性が高まっている。社会環境や制度のあり方を常に意識し、正しい情報を基にスピード感を持ち、目指すべき方向性を定め事業を発展させていきたい。

取り巻く環境が大きく変化する中、2020 年における聖隷のあるべき姿の検討を進め、新たな 5 か年計画『中期事業計画 2016-2020』を策定した。2020 年の目標として策定されたビジョン 2020 の実現に向け取り組んでいく。

社会福祉法人として各事業部、各職場、職員一人ひとりには新たな中期事業計画を基に、何をすべきか、何をしなければならないかを考え、直面する課題について検討を重ね、新たな事業の必要性、新たな価値の創造に取り組んでいただきたい。

2016 年度聖隷福祉事業団法人目標は、新たな中期事業計画に沿って以下の取り組みを行う。

## 1. 最高の質を追求し、「聖隷」ブランド力の強化

最高の質とは、地域で一番のサービス提供を意味する。各事業により提供するサービスの内容は異なるが、利用者視点に立った最高の質についての定義を明確にし、質の向上を目指す。例えば、医療であれば、治療成績や平均在院日数が質を評価する指標として着目されるが、言葉遣いや挨拶といった接遇マナー、提供される食事の味、療養環境の美化など様々な視点で最高の質は定義できるものとする。また、聖隷ならではの独自性に優れたサービスや技術についてもさらなる向上を目指し、『聖隷』のブランド力を強化する。

## 2. 社会福祉法人としての使命の追求

社会福祉法人制度改革において指摘されている、「地域公益活動の推進」、「積極的な情報発信」に力を入れ社会福祉法人の使命を追求していく。聖隷として公益活動の定義を明確にし、活動内容とその実績について情報公開を行い、私たちの社会的意義を多くの方に知っていただく取り組みを行う。昨年、新たな公益活動として、生活困窮者向け学習支援事業をスタートさせ、制度の谷間で悩む人々への新たな支援の拡大を実現した。聖隷の行う支援事業が、地域社会におけるセーフティネットとして機能することを目指し、さらなる支援の充実と範囲拡大を推進していく。

今年は、障害者支援事業に力を入れ取り組む。相談支援や就労支援をはじめとする福祉サービス事業を展開し、利用される多くの方々のニーズに寄り添ってきた。サービスを提供する中で培った経験と学びを基に、障がいを持つ方々が安心して日々の生活を送ることができる環境の充実を図る。

聖隷の運営におけるスピーディな意思決定とコンプライアンス経営を実践するために、先駆的なガバナンス体制を構築し運営してきた。今後の制度改革に伴うガバナンス体制の一部見直しにも適正に対応し、日本を代表する社会福祉法人としての自覚をもった健全な経営体制と組織運営を行っていく。

## 3. 人づくり文化の醸成

事業を継続していく上で、人材育成は常日頃から意識して進めなければならない。以前より「人づくり」を重要項目に位置づけ取り組んできたが、今後も「人づくり」を通して、組織体制の強化を図る。

聖隷は、新たな価値の創造と提供するサービスの質を常に向上し続けることを目指している。職員は自己研鑽に努め、広い視野と高い専門性を追求し続けていただきたい。そして、各職場長は、職員一人ひとりが知識、技術をいかんなく発揮し、やりがいを持って業務に取り組むことができる職場作り、さらには、後進の育成に真摯に取り組んでいただきたい。

待ち受ける消費税増税、報酬改定による経営への直接的な影響について経営上の管理者のみならず、全ての職員が意識していただきたい。職員一人ひとりの生産性向上に向け聖隷全体で取り組むと同時に、日常業務における効率化、省力化など、コストに対する意識をさらに高め、職員の経営参画意識の醸成も図っていく。

#### 4. 女性の活躍推進と人材の確保

少子化に伴い、人材の確保がこの先の大きな課題になると危機感を持っている。その状況下において、定年退職を迎える知識、技術、経験を備えた職員への働く場の提供、EPAをはじめとする外国人就労者への継続サポート、国家資格を持ちながら職を離れている潜在有資格者への復職支援、ワークライフバランスやライフステージに合わせた多様な働き方の創出を実現し、人材の確保、職員の定着を図っていく。

聖隷の職員数は13,000人を超えており、約7割を女性職員で占めている。多くの女性職員に支えられ、各地域で事業が展開できることに對し感謝している。今後も多くの女性にとって働きやすく、出産、育児などにより一度職場を離れても、復帰して働ける職場環境の整備に力を入れ、活躍できるセクションやポジションを拡大し、それぞれが思い描くキャリアデザインの実現を応援していく。

また、地元を知り、地域の活性化を推進する人材の採用と育成に力を入れ、聖隷が展開するそれぞれの地域における事業の発展と存在意義の向上を目指す。

障害者雇用について、聖隷全体で取り組んできた。各施設において、就労可能職場や業務の洗い出し、働く上での設備や配置といった労働環境の整備が進み、多くの方が仲間として働いている。今後も継続して障害者雇用の促進に力を入れていく。

#### 5. 新たなサービスの創造

職員からの積極的な提案があったからこそ、多くの先駆的なサービスの提供を実現してきた。

今後も利用者の視点、地域の視点など、あらゆる角度から複合的にサービスの向上と展開を模索する中で、職員一人ひとりのやりたい、変えたいと思うチャレンジ精神を尊重し、質の高い新たなサービスの創造に挑戦し続けていく。

その第一歩として、医療提供体制の充実を目指し聖隷横浜病院外来棟の建替え、安心して生活できる住環境の整備を目指し浜名湖エデンの園 1・2号館の建替え、4号館の増改築工事がスタートする。工事期間中は利用される方々に多大な迷惑をお掛けするが、安全に工事を進め、さらなるサービスの充実を図る。また、依然として取り上げられる待機児童の問題に対しても、既存こども園の増改築、新たなこども園の開設に向けた準備を進め、子どもを持つ女性が、安心して仕事にも子育てにも取り組めるよう環境の整備を進めていきたい。

## 6. 連携の可視化による地域包括ケアシステムの基礎作り

超高齢社会へ進むにあたり、「病院完結型」から「地域完結型」への方向転換が打ち出され、地域を枠組みとした保健・医療・福祉・介護において連携の必要性がより明確化され、地域包括ケアシステムという言葉が広がりつつある。

聖隷は、地域包括ケアシステムに必要とされる保健・医療・福祉・介護の各サービスを整えているが、地域を枠組みに一体となったサービスの提供を行うためには、事業部のさらなる融合を推進していかなければならない。また、独自のサービスを持ち合わせていない地域は、聖隷単独での事業展開にこだわることなく他法人との連携の可能性について検討を行う。融合と連携によりサービス提供体制を充実させ、住み慣れた地域で安心して複合的な社会保障サービスを受けられる環境整備、すなわち地域包括ケアシステムの構築を目指し、情報共有のための ICT の活用や地域内ネットワークの構築を進めていく。

## 7. 健全経営の推進

サービス活動収益 年 2.5%成長（対 2015 年度比）は、聖隷が先駆的な事業を実践する中で、経営の健全性を保ち、事業の発展を目指すために必要とするものである。職員の皆さんも経営的な数値について理解し、日々の業務に取り組んでいただきたい。

聖隷福祉事業団が日本を代表する社会福祉法人へ成長することができたのは、職員一人ひとりが何をすべきか、何をしなければならないかを考え、新たな取り組みへ挑戦し続けてきたことによるものだと確信している。今後も挑戦し続ける組織であり続けることをお願いしたい。

最後に、2020 年、聖隷福祉事業団は創立 90 周年を迎える。中期事業計画 2016-2020 として新たな 5 か年をスタートさせるにあたり、職員と共に 5 年後のあるべき姿を思い描き、目標の実現に向け歩みを進めていく。

基本理念

キリスト教精神に基づく  
「隣人愛」

使命

- ・いのちと尊厳のために
- ・利用される人々のために
- ・地域社会とともに
- ・未来を築く
- ・最高のものを

ビジョン2020

人・地域・社会・時代が必要とする  
ヒューマンサービスを追求し、  
新たな価値を創造する

中期事業計画

事業部中期事業計画

事業団年度目標

事業部年度目標

職員行動指針

わたしたちは、  
ひとりひとりの  
命と尊厳を守ります

わたしたちは、  
サービスを求める  
すべての人々に、  
誠実かつ献身的に仕え、  
その自立を支援します

わたしたちは、  
「保健・医療・福祉・介護」  
サービスを通して  
社会に貢献し、  
地域の人々との  
強い絆を育みます

わたしたちは、  
先駆的・開拓的精神で  
新たなニーズの発見に努め、  
常に課題に挑戦します

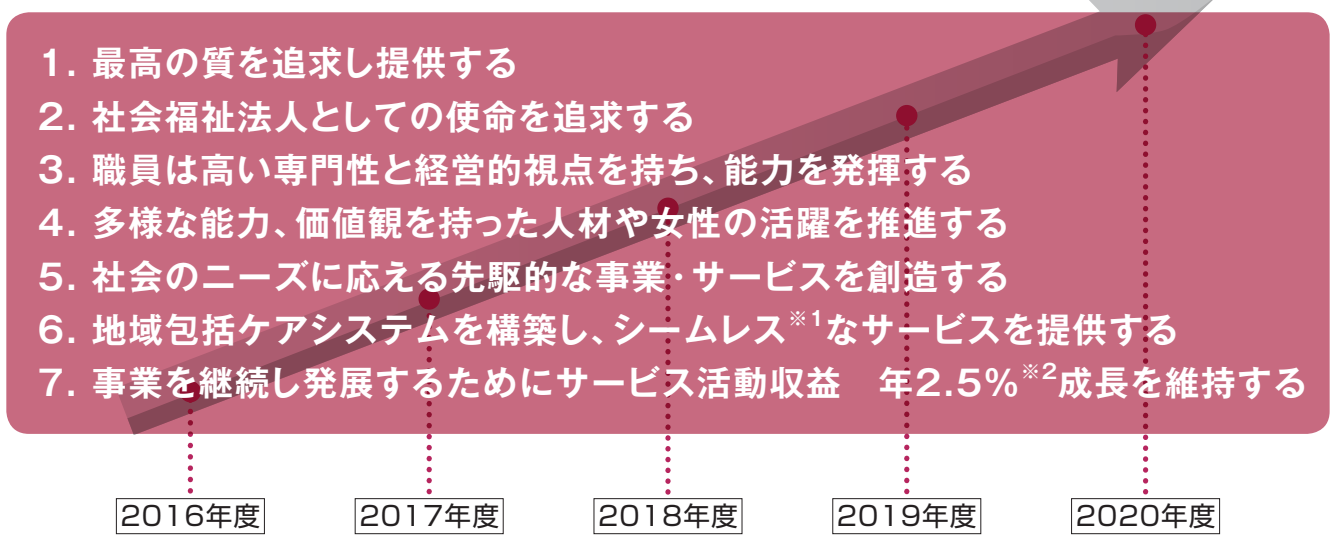
わたしたちは、  
ひとりひとりが専門職としての  
倫理と誇りを持ち、  
最高の技術を提供します

次ページへ

【用語の定義】

○使命：職員は何を大切に考えて仕事をするか ○ビジョン2020：2020年にどのような組織であるべきか

ビジョン2020  
 人・地域・社会・時代が必要とする  
 ヒューマンサービスを追求し、  
 新たな価値を創造する



<b>1. 最高の質を追求し提供する</b>	<b>6. 地域包括ケアシステムを構築し、シームレス<sup>※1</sup>なサービスを提供する</b>
①利用者視点に立った良質なサービス提供の実践	①地域枠での聖隷独自の事業展開と事業部の融合
②人口動態の変化に伴うサービスの変革	②聖隷と他法人の連携による地域包括ケアシステムの構築
③最新医療・介護技術、システムの導入・構築	③地域包括ケアシステムにおける連携の仕組み作り
<b>2. 社会福祉法人としての使命を追求する</b>	<b>7. 事業を継続し発展するためにサービス活動収益 年2.5%<sup>※2</sup>成長を維持する</b>
①社会福祉法人としての公益活動の推進・情報発信	<2020年度到達目標>
②新たな組織体制の追求	①サービス活動収益 対2015年度比 112.5%以上
<b>3. 職員は高い専門性と経営的視点を持ち、能力を発揮する</b>	②経常増減差額率 5か年累計平均 3.0%以上
①サービスの質を意識し、専門職としての知識・技術・価値の追求	③職員一人あたりサービス活動収益 対2015年度比 107.0%以上
②経営を担う人材、新たな価値を創造する人材の育成	④職員一人あたり経常増減差額 対2015年度比 112.0%以上
③中期事業計画を理解し、自ら考えて行動する人材の育成	⑤実質資金増加額 5か年累計 60億円以上
<b>4. 多様な能力、価値観を持った人材や女性の活躍を推進する</b>	⑥純資産比率(自己資本比率) 40.0%以上
①多様な働き方の創出	⑦人件費率 58.0%以内
②女性の活躍を推進するためのキャリア形成支援	⑧有利子負債比率(対サービス活動収益) 30.0%以内
<b>5. 社会のニーズに応える先駆的な事業・サービスを創造する</b>	⑨公益活動比率(対サービス活動収益) 後日検討
①効果的な投資による経営資源の最大活用	※1 シームレス: 地域において保健・医療・福祉・介護サービスを事業団内、他法人との連携により継ぎ目なく受けられること。
②社会環境の変化を先取りした事業の展開	※2 成長率 年2.5%: 新たな事業展開、医療・福祉人材の確保等を行う中で、安定的な経営を行うために年2.5%以上の成長が必要である。2020年度終了時、サービス活動収益対2015年度比112.5%以上
③地域に求められるサービスの提供	